

平成 18 年 8 月 31 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名	代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号	1605 東証第 1 部
問い合わせ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 宮本 修平
電話番号	03-5448-0205

西豪州 WA-285-P 鉱区権益の権益譲渡に関するお知らせについて

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社は、子会社インペックス西豪州ブラウズ石油株式会社を通じて探鉱事業を推進しております西豪州 WA-285-P 鉱区の参加権益の一部 (24%) を、オーストラリア政府当局の承認を条件に、仏国 TOTAL 社の 100%子会社である TOTAL E&P Australia 社に譲渡することといたしましたので、お知らせいたします。

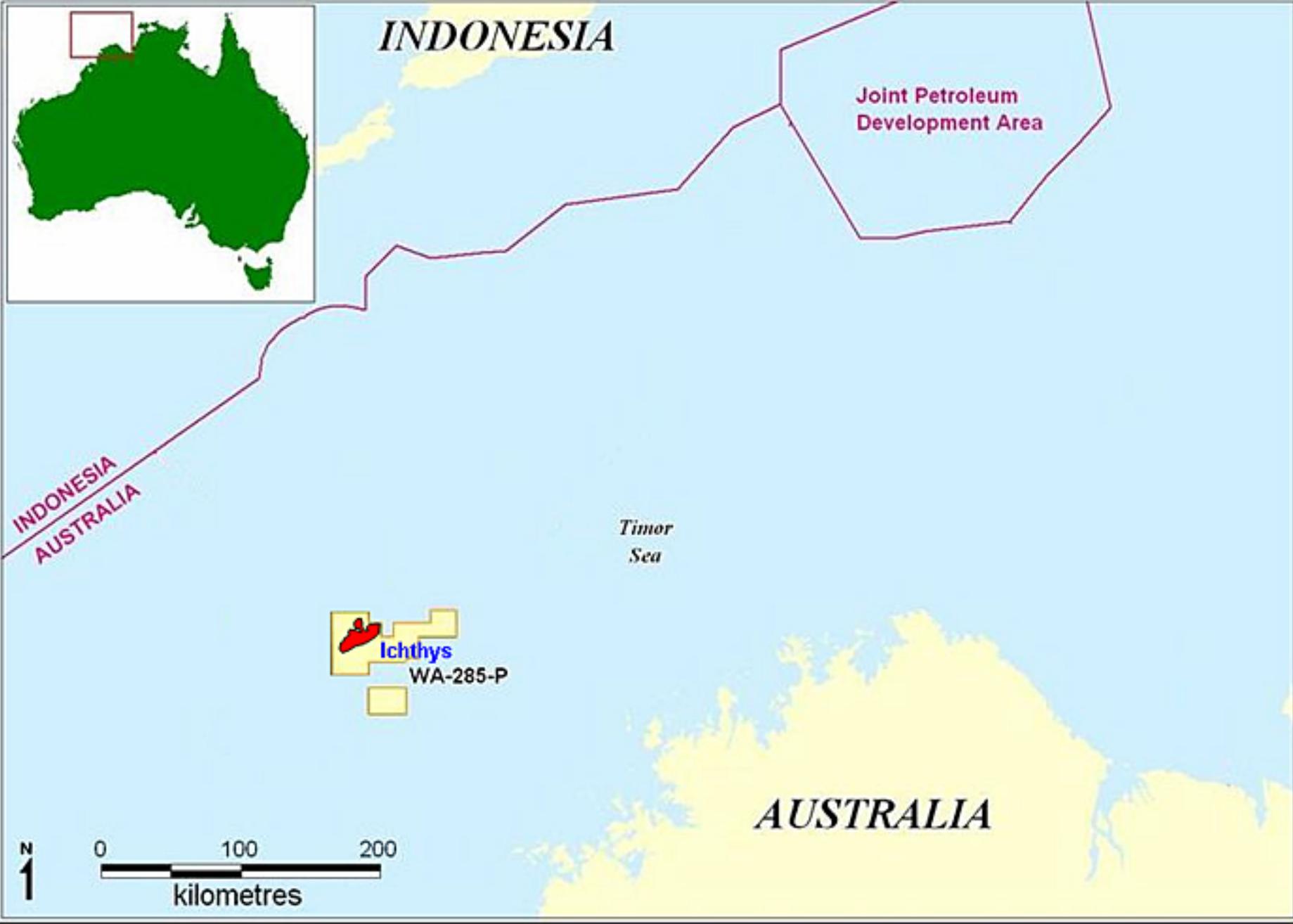
WA-285-P 鉱区は西豪州北西大陸棚沖合ブラウズ堆積盆 (Browse Basin) に設定され、鉱区面積は、3,041km²、鉱区の水深は、90～340m であります。同鉱区の 100%権益を保有するインペックス西豪州ブラウズ石油株式会社は 2000～2001 年に第一次掘削キャンペーンを実施し同鉱区内にイクシスガス・コンデンセート田を発見しております。

インペックス西豪州ブラウズ石油株式会社は、引き続き西豪州 WA-285-P 鉱区のパレーターとしてイクシスガス・コンデンセート田から生産される天然ガスを、LNG (液化天然ガス) として生産・販売する計画であり、初期生産段階での LNG の生産・販売量は、年間約 600 万トンを予定しておりますほか、将来の LNG のマーケット状況、イクシスガス・コンデンセート田の天然ガスの埋蔵量等に照らして追加の LNG 生産・販売につきまして決定する予定です。また、LNG 生産に加え、ピーク時にはおよそ日産 10 万バレルのコンデンセート及び LPG の産出を見込んでおります。

TOTAL 社の西豪州 WA-285-P 鉱区への参加は、インドネシア共和国東カリマンタンマハカム沖原油・天然ガス生産事業を初めとするこれまでの 2 社間の世界各地における協力関係を一層発展させるものであり、また、世界の多数の LNG 事業への参加を通じ LNG 事業の開発に技術・経験を有する同社の参加は、イクシスガス・コンデンセート田の開発・操業および LNG の安定的な生産・供給に資するものと考えております。

イクシスガス・コンデンセート田の開発は、長期にわたり豪州経済発展に貢献するプロジェクトとして、本年 8 月に豪州連邦産業観光資源省から主要促進プロジェクト (Major Project Facilitation) と認定されております。当社は、今後ともオーストラリア連邦政府及び西オーストラリア州政府が定めた法令を遵守し、関係者の理解と合意を得たうえで、イクシスガス・コンデンセート田の開発作業を、環境保全と安全確保に配慮しながら遂行し、わが国基幹エネルギーの安定供給の確保に今後一層貢献してゆく所存であります。

以上



WA-285-P